

イメージはいつでも 雨のち晴れ

財務省主計局司計課

岩崎 太郎

辞令は突然に・・・

縁あって総務省に採用された私ですが、現在はところ変わって財務省主計局で働いています。ズバリ出向者というわけですね。所属している司計課では、各省庁の予算が適正に執行されているかを、様々な観点から審査しています。一言で言ってしまうと簡単ですが、扱うのは他でもない国家予算。職員一人一人が持つ責任の大きさも業務のボリュームも、半端なものではありません。

当初は、予算業務をまともに経験したこともなく、会計知識に長けているわけでもない自分が財務省で働くなんで大丈夫か？という心配もありました。しかし、「これもまた何かの縁」と覚悟を決めて、現場の実戦トレーニングで仕事を覚えていきました。毎日数字とにらめっこしながら、悩んで学んで何とか現在に至っています。

「仕事論」みたいなものを語ってみました

せっかくだからいい仕事したいですね。そのために、私は日頃から「バランス感覚」が重要だと思っています。一方に偏ることなく、臨機応変に立場を変わって考えるという力です。

総務省では、各省庁が行う政策をチェックするという業務を経験し、現在の財務省でもまた、各省庁を相手にして予算の執行をチェックしています。間違っていることは間違っていると指摘しなくてはなりませんが、こちらの主張をただぶつけたままでは、その後につながりません。上から目線なんてもってのほか。当方の意見、相手省庁の意見、そして国民の意見。様々な考え方があることを理解し、これらを集約していくことで、より広い視点で物事を考えられるようになります。大人の余裕とでも言いましょうか。きっと仕事もスムーズに進むでしょう。

というわけで、いざ総務省へ

総務省の仕事は実にバラエティ豊かだなあと、一度外に出てみてなおさら感じています。「財務省へ出向」という自分の今の姿はまったく想像できませんでしたし、私の周りを見ても、経歴は面白いほどバラバラです。いい意味で既定路線というものがありません。お恥ずかしい話、総務省内でも私の知らない仕事はまだたくさんあります。本人の気持ち次第で、いくらでも仕事の幅が広がっていく。そんな可能性が総務省には溢れているのではないのでしょうか。迷ったらいざ総務省へ。皆さんにも何かが見えてくるはずですよ。

PROFILE

平成18年4月 総務省採用
総務省北海道管区
行政評価局

平成19年4月 総務省行政管理局
企画調整課

平成21年4月 総務省行政評価局
評価監視官付

平成23年7月 現職

地方自治体

海外

関係機関

留学

とある一週間

月曜日 担当省庁から報告を受けた調書の数字チェック。まだ週の始め。電卓を打つ指にも力がある。

火曜日 担当省庁や他係からの協議案件が絶え間なくやってくる。いつの間にか机の上が書類の山に。

水曜日 数字チェックや協議の日々は続く。まだまだ理解していなかった制度や規則があり、日々勉強。

木曜日 一日中、担当省庁の予算執行関係のヒアリング。相手からの要求に中々敵しきれない自分がもどかしい。

金曜日 一週間がんばった自分へのご褒美。早めに仕事にメドをつけ、足早にお気に入りの居酒屋へ。

土・日曜日 家族と一緒にのんびりと過ごし、心と体を癒す。「仕事のことは考えない口にしなさい」が休日のモットー。



子どもと過ごす休日のひととき